

2019川崎港トライアスロン大会 in 東扇島大会TOLレポート



◇氏名: 亀山秀紀

◇加盟団体名: 神奈川県連合

◇配置と担当: チームリーダー

◆大会までのワークフロー

- ・08月28日 チーフ/サブチーフを選定(参加者: 亀山 TL、武田 TD、杉浦実行委員長、杉浦事務局)
- ・09月03日 大会実行委員会を開催(参加者: 加藤 RD、亀山 TL、武田 TD、新津 HR、杉浦実行委員長、高崎専務理事、杉浦事務局)
- ・09月06日 CTO 専用メールアドレスを開設
- ・09月13日 CTO 会議を開催(参加者: 亀山 TL、武田 TD、新津 HR、杉浦実行委員長、高崎専務理事、杉浦事務局、稲田スイム C、榊スイム SC、山田バイク C、篠原ラン C、梅田ラン SC、多田トランジション C、吉村フィニッシュ C、中尾フィニッシュ SC)
- ・09月14日 OP マニュアル作成に向け CTO メール回覧を開始

- ・09月17日 大会 TO サイトをリリース / 随時更新
- ・09月27日 ボランティア名簿を大会 TO サイトに公開
- ・10月05日 大会前日設営(参加者: 亀山 TL、武田 TD、新津 HR、杉浦実行委員長、高崎専務理事、杉浦事務局、稲田スイムC、鈴木スイム、山田バイク C、和田バイク SC、篠原ラン C、梅田ラン SC、多田トランジション C、松村トランジション SC、吉村フィニッシュ C、中尾フィニッシュ SC)

◆大会当日について

- ・気象状況 気温 23°C/水温 22°C/風速 6m(8:15 現在)、曇り一時雨、途中雨が降る時間帯はあったものの比較的穏やかな天候であった。
- ・参加者状況 エントリー数 665 名/DNS55 名/DNF22 名/DNQ5 名。例年に比べ DNS 者数が少なかった。
- ・TO 体制 実働 49 名。欠員なし。
- ・ボランティア体制 名簿数 41 名、当日欠員が発生し 38 名体制となった。
- ・大会総括 特筆すべき事故もなく無事終了。

◆特筆事項について

- ・例年ご参加いただいているパラエンジョイディスタンス/中山賢史朗選手に続き、今年オリンピックディスタンスにパラアスリート/秋葉茂選手が初参加した。

◆来年度への課題について

- ・大会実行委員会および CTO 会議のキックオフは大会 2ヶ月前辺りに実施することを希望する。今回の約 1ヶ月前ではタイムスケジュールは厳しい。
- ・大会 2ヶ月前からの実施であれば OP マニュアル作成に時間を割くことができる。また、CTO 会議を複数開催することが可能となる。チーフとサブチーフおよび各パート間の調整や連携、さらにはチームワークを深める意味でも最低 2回は必要か。
- ・TO 数 49 名では厳しい。各パート 1 名増員し、54 名体制としたい。
- ・ボランティア数の不足は TO に負担をかけることになり、結果的に審判クオリティに影響する恐れがある。したがってボランティア数は重要な問題。45 名は確保する必要がある。
- ・今回、パラアスリートの秋葉茂選手のオリンピックディスタンス参加についてはタンデムバイク乗車によるバイク競技での危険性を考慮し当初消極的であったが、TO メンバーから参加を認めるべきとのご意見もあり実施した。事前に個別コミュニケーションを取り留意点等をお伝えし、理解をいただいた。競技後に感想をいただいたが、バイクの折り返しとカーブは細心の注意を払う必要があったとの報告をいただいた。今回は競技説明会でパラアスリートと一緒に走る旨をアナウンスしたが、次回は参加案内等さまざまな場面でもアナウンスすべきと考える。

◇氏名:武田広明

◇加盟団体名:神奈川県連合

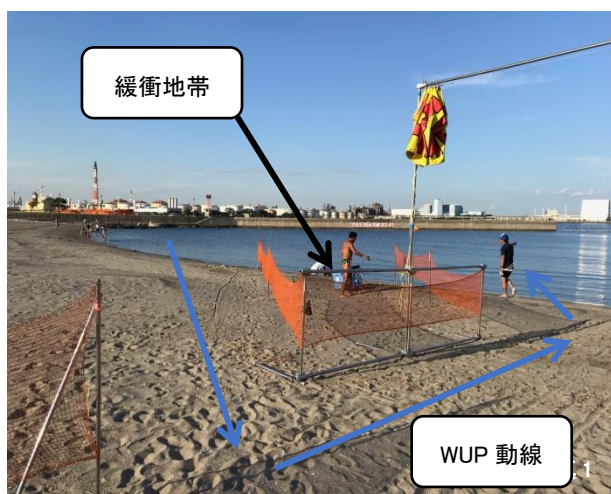
◇配置と担当:技術代表

◆選手説明資料

- ・バイク試走について明記する必要あり(危険車両確認の為、なるべく推奨)
- ・スイムウォーミングアップを明記(召集時間を10分早めることは可能?)
- ・キッズのウェットスーツ着用可能か?について明記
- ・トランジションオープン及びクローズ時間を明記
- ・キッズ用のバイクをラックに掛ける際のポイント(ヒモ対応あり)を明記
- ・ウェアラブル対応のハイテク機器の計測使用について明記

◆スイム

- ・ホーン(YTA より借りる)、温度計(新津さんの時計)などで代用したが、備品不足
- ・輪ゴムを外していく方法が上手く出来た
- ・例年混乱していたウォーミングアップをコントロールできた(写真1)
- ・観客とコースの間に緩衝地帯を設けたのは良かった(写真1)
- ・召集時間を現場感覚で10分早めたのが良かった
- ・コース設営において、既存ブイを水上で運ぶのは効率が良い(写真2)



- ・昨年より砂浜の砂を増量した効果か? 貝殻、アオサが例年と比較し少なかった
- ・スイムエイドにごみ箱を追加設置必要
- ・スイム動線、真っすぐがベター?(写真3)
- ・スイム待機エリア奥のシャワーを、選手が使い難い(写真3)



- ・キッズのウェットスーツ着用可能?について明確に事前案内する
- ・競技選手とスタート待機選手の交差コントロール(写真4)



◆バイク

- ・駐車車両との接触事故なし
- ・大会事前アナウンス看板(赤字)と運営上(車線幅 2/3)の違いあり?(写真5参照)



自転車競技のコースとして片側2車線を使用しますので、

◆ラン

- ・パラ用(2名)のコースを設置(既存コース内で工夫)(写真6)
- ・エイド付近に設置した紙コップ回収段ボール箱の底が水で穴が開いてしまった(写真7)



- ・周回とゴール分岐点付近の横断路未設置?(マニュアルには記載有)(写真8)
- ・スイムアップとランスタート時の合流付近の海側観客コントロールの必要あり
※今年は養生テープで対応(確か昨年も?)

◆トランジション

- ・キッズ用のバイクをラックに掛けるヒモを事前準備必要
- ・仮説トイレのポジションの改善(スイムアップ、ランスタート、トランジからの動線)等三方の利用し易さが向上する(写真9)
※次年度は、もう少し奥の方が良いか?(シャワーの横など?)
- ・ホワイトボードを使用したアナウンスがあると良いのでは?(オープン・クローズ時間など)
- ・キッズバイクのスタンド使用 OK
- ・スマホなどのハイテク機器の計測使用について事前共有及び周知必要



◆フィニッシュ

- ・フィニッシュエリアの設営を意識し、この大会に相応しいレイアウトを完成出来た(写真10)



◆全体

- ・運営マニュアル作成など TO 間の課題及び解消方法の共有完了後、選手向けの悦明資料を作成できるような準備期間を設けられると良い
- ・大会全体を通し、大きな事故の発生は無かった
- ・瞬間的な大雨、低温などの気象状況に対する防寒対策などを、事前に TO、ボランティアへもつと伝えるべきであった
- ・コーン等の設置(事前500+追加110個)方法(配布)に工夫必要
- ・備品関連をもつと意識する為に、各パート間での調整を担当する備品専属パートチームを新設すると良いのでは？
- ・“KnTU 大会運営マニュアル”が完成し、次回は、もつと活用したい
- ・チーフ(全体管理)とサブチーフ(現場対応、各種無線報告等)の役割を統一する
以上です

◇氏名:新津桂一郎

◇加盟団体名:神奈川県連合

◇配置と担当:審判長

◆実施事項/工夫した点/良かった点等

- ・選手参加案内で、前年レポートを参照し指摘の多かったトランジションでの注意点を中心に見直し修正を行った。
- ・当日の選手説明会で、スイムエリアの導線について説明。アンクルバンドを必ず受け取ってから試泳を行う事。バイクでの駐車車両の注意喚起。ランでのパラ選手とのコースの違い。パラ選手が一般と同ウェーブで競技を行う事。を強く伝えた。
- ・着順判定で、周回不足等の選手聴取スムーズに行う事が出来た。
- ・パラ選手のコース設定も問題なく。危惧していたラン競技も安全でスムーズであった。

◆改善提案

- ・細かい備品の確認も前日までに終えたかった。
- ・TO・ボランティアの人員が少なく、バイク・ランに負担が掛かってしまった。
- ・バイクコースの駐車車両の移動協力願いができないか。

◆総括

- ・大会前日までに、TL・TDをはじめCTO・STOと共に前年から想定される問題点の洗い出しを行い、問題点の解消に向け検討を重ね当日を迎えられた結果、大会を大きな事故もなく難なく終えることができた。
- ・大会当日、各TOの現場力を改めて痛感した。CTOはエリア統括とし、STOが現場の指揮を執る役割分担が功を奏し、TOへの指示伝達が機能したと思われる。TO人員数が少ない事がかえって個人の力が発揮できた要因かもしれない。ただ、各TO・ボランティアにはかなりの負担が掛かっているのも事実である。無理のない運営を続けていくには、最低でもTO 10名程度増員が必要と思われる。 以上

◇氏名:稲田隆俊

◇加盟団体名:神奈川県連合

◇配置と担当:スイム/チーフ

◆継続すべき点

- ・大会そのもの…がんばって継続させましょう
- ・TD、TL、RR、CTO、SCTOで連携が取れるメールアドレスは良かったと思います。情報連携がスムーズでした。
- ・スイム 周回チェックの輪ゴム渡しを、先に2本渡す方式に変更しましたが、特に混乱なくスムーズだったと思います。次回大会でもこの方式で良いと思います。

◆改善すべき点

- ・今大会では、潮位の関係で岸壁バルコニーからの選手のピックアップは行なわないことを事前に決定していましたが、そのことがライフセーバー(ペガサス)へ連携されておらず、当日の打ち合わせでご了解いただきました。このことによる海上配置に影響が出るそうですので、事前にライフセーバーとの更なる密連携をお願いします。

- ・今年から変更したスタンダードの試泳方法ですが、うまくいったのは1Wのみでして、それ以降のウェーブでは競技中の選手との導線でバッティングが発生するため、現場対応で導線を変更して対応しました。
- ・既存ブイの撤去および復元作業は、TOではなく設営業者側での担当として頂きたいです。
- ・小学生低学年が、スイムアップからトランジションまでの導線を間違えるケースがあったので次回大会では人を配置する等して対応したいです。
- ・小学生以外のカテゴリでは、スタンダードと同じように沖へ向かって泳ぐコースの設定の方が選手も泳ぎやすいと思います。

◆カラーコーン&バー配置計画

- ・カラーコーン、バー、未使用。
- ・30m ネット3本で、選手エリア、観客導線を確保する今年のレイアウトは良かったと思います。写真は武田さんレポートにあります。

◆その他気づいた点を

- ・TO ミーティング終了後にフィニッシュゲートの後片付けをTOに強制しておられましたが、あの対応には大いに疑問を感じました。受け取り方によっては、謝金の支払で首を絞めて、後片付けを強制しているようにも受け取られかねないので、以後お気を付け頂くのがよいかと思えます。
- ・前日によく確認しておけば良かったのですが、一部スイムエリアで使用する備品が不足していました。気温計、水温計、スタートホーン、トラメガ(トラメガはあったけど)電池が入っていなかった) 以上です。

◇氏名: 榊幸喜

◇加盟団体名: 神奈川県連合

◇配置と担当: スイム/サブチーフ

- ◆今回はこの様なレイアウトになっていました。アンクルバンドの机は、真ん中に机を3つ並べ、眼鏡置き場はこの位置で下側。選手がゲートをくぐって左側に設置。
- ・招集、アンクルバンド渡し、この辺は予定時間が決まっていますが、試泳の為に早く来る人が居る予想を数名のTOに訪ねられたので、最大10分前までは予定時間より早く渡す事に決め、試泳(青い矢印)をしてもらう事にしました。元々試泳の時間が決められてない事への明確化と試泳時間を多く取りたかった為。この事で結果的にオリンピックディスタンスでのアンクルバンド渡しが集中せず、少人数でスムーズに渡せた様です。
- ・その後は、試泳時間5分前終了、それぞれのスタートエリア誘導、集合、競技説明への流れがオリンピックディスタンス1ウェーブまで上手く行きました。

- ・しかし、2ウェーブからは試泳の後のスタートエリアへの誘導が赤い矢印だとまだ前のスイムが終了しておらず、そのタイミングを見計らって横断させなくてはならないです。
- ・しかし、以前までの動線も階段の方から大回りしてただけで、2ウェーブ以降は試泳の位置の事情で結果的には横断する必要がある為、今後もこのレイアウトの方がシンプルだし、TOもアンクルバンド渡し等でほぼこの辺に集まっているので大勢で横断の誘導を出来るのでこのままで良いかと思います。
- ・その為に急遽変更した事は、試泳時間を早めに終了させた事。これは僕が競技説明でマイクを持っていたので試泳終了やアンクルバンド、周回輪ゴム説明などMC的にあちらこちらに移動して行っていたので時計を見ながら出来ましたが、試泳終了案内を分担していたら競技説明、最悪スタートが間に合わなかったかもしれないです。
- ・横断させるのが意外と時間が掛かり、残り10人程度までは待とうとしましたが、時計を見ながら揃わなくても競技説明を始めないと最低限の事も言えなそうな状況でした。2ウェーブは2分、でもちょっと足りなかった。3ウェーブは4分、やはり5分は早く終了しないとならないかと思います。まとめると、1ウェーブまでは5分前終了で大丈夫ですが2ウェーブからは10分前終了にする必要があります。
- ◆今回から変更した周回用輪ゴムの先渡しは、大きくは上手くいったと思います。回収場所は▲ブイの★印の場所にカゴを持ったTOが立ち、入れてもらう様にしました。
- ・細かい不具合な所では、最初足にしていた人が何人か、輪ゴム大き過ぎが何個か、片手に二つ。この辺はマイクを持ちながら細かく何度も説明したのでほぼ理解してもらえました。しかし、アンクルバンドを渡す時、もう少し輪ゴムの使い方(両手の手首か腕に付けて下さい)を伝えてもらえばよかったです。
- ・また、競技中に実際そのまま周回してる人が何人か居ましたが、結果的には周回間違えがなくて良かったと思います。
- ・輪ゴムの先渡しはランでも応用出来ると思います。
- ◆その他。バイクの TO・ボランティアの休憩交代ですが、正直今回どうしたか把握してませんが、考えてみました。
- ・単純に、バイクは倉庫街部分なので裏を通って近くのカフェ側から自転車で行き、海側から倉庫側にタイミングを見て渡り、交代する。海側から倉庫側に渡るのはバイク競技次第ですが、簡単に出来るのならランの交代で場内を歩いていくより早く交代出来るのではないかと思います。
- ◆その他。2017年位に、バイクの渋滞対策で考えた案です。そのポイントとなるのがスイムエリア・ランエリアの有効活用。
- ・スイムエリアは、ゴールは同じでもオリンピックディスタンスだけ他のカテゴリーと別のエリアを使用しているので、同時に競技を出来るのでは？と考えました。
- ・また、ランエリアは、2月のカーフマンを見ていて、1周で1km取れるのならばキッズ

はランエリアでバイクを走らせてもいいのでは？と考えました。また、トランジッションの場所もトライアスロンとは違う場所になっているので、キッズはその辺の場所にトランジッション変えてもいいのではないかと思います。

- ・以上の事を踏まえて考えたのがオリンピックディスタンスをメインにしたスケジュール。それ以外は同時進行としました。
- ・キッズはバイクを場内としました。ジュニア・トラガールまでのトランジッションは別エリアとしました。
- ・同時に競技のカテゴリーも改めて考えてみました。エンジョイ・オリンピックは募集時18歳以上となっていますが、他の大会では16歳以上で良い場合が多いので、高校生はどれでも選択出来る様にしています。その場合表彰対象が一般扱いになる。

◆競技距離再編

- ・オリンピックディスタンス・リレー(高校生) 51.5km(S1.5・B40・R10)
- ・スプリントディスタンス・リレー(高校生) 25.75km(S0.75・B20・R5)
- ・エンジョイディスタンス・リレー(高校生) 19.4km(S0.4・B15・R4)
- ・高校生 19.4km(S0.4・B15・R4)
- ・トラガール 12.2km(S0.2・B10・R2)
- ・ジュニア 12.2km(S0.2・B10・R2)
- ・キッズ4-6 3.1km(S0.1・B2・R1)
- ・キッズ1-3 1.55km(S0.05・B1・R0.5)

◆スプリントディスタンスなし案

- ・オリンピックディスタンス/1ウェーブ
召集時間9:05 9:15-9:35-10:35-11:05-13:05
- ・キッズ4-6 男子9:15-9:35 女子9:16-9:36
- ・キッズ1-3 召集時間9:10 男子9:25-9:42 女子9:26-9:43
- ・ジュニア/トラガール 召集時間9:20 9:35-10:10
- ・高校生/エンジョイディスタンス 召集時間9:45 10:00-11:55
- ・オリンピックディスタンス2ウェーブ
召集時間9:50 10:05-10:25-11:25-11:55-13:55
- ・オリンピックディスタンス3ウェーブ
召集時間10:35 10:50-11:10-12:10-12:40-14:35
- ・オリンピックディスタンス4ウェーブ/オリンピックディスタンスリレー
召集時間11:20 11:35-11:55-12:55-13:25-15:20

◆スプリントディスタンスあり案

- ・スプリントディスタンス 召集時間9:05 9:15-9:25-9:55-10:10
- ・キッズ4-6 男子9:15-9:35 女子9:16-9:36
- ・キッズ1-3 召集時間9:10 男子9:25-9:42 女子9:26-9:43

- ・ジュニア/トラガール 召集時間9:20 9:35-10:10
- ・オリンピックディスタンス1ウェーブ
召集時間9:30 9:45-10:05-11:05-11:35-13:45
- ・高校生/エンジョイディスタンス 召集時間9:45 10:00-11:55
- ・オリンピックディスタンス2ウェーブ/オリンピックディスタンスリレー
召集時間10:15 10:30-10:50-11:50-12:20-14:15
- ・オリンピックディスタンス3ウェーブ/オリンピックディスタンスリレー
召集時間11:00 11:15-11:35-12:35-13:05-15:00
- ・スプリントディスタンスなし案は、今までのウェーブを3ウェーブから4ウェーブに増やして1ウェーブあたりの人数を減らしています。更に、ウェーブとウェーブの時間を今までの30分から45分に広げて、バイク時の人数を集中しない様にしています。
- ・スプリントディスタンスあり案は、単純にスプリントディスタンスを入れ3ウェーブのままの案ですが、ウェーブとウェーブの時間は45分です。
- ・スプリントディスタンスの時間はこの例では1ウェーブ目に設定していますが、4ウェーブ目でもありかと思えます。勿論縦に泳ぐコースを使用します。最終終了時間は両案とも現状15:25分より早くなります。
- ・スイムを同時に行うに伴ってライフセイバーも2・3人増員する必要があると思えます。その分経費がふえますが、キッズ・ジュニア・トラガールのトランジションを別のエリアにする事で元のトランジションエリアがその分空くので、募集人数もいくらか増やす事が出来ると思えます。 以上

◇氏名:三井はるみ

◇加盟団体名:神奈川県連合

◇配置と担当:スイム

S/C, S/SC の説明がわかりやすく、お二人とも終始朗らか、チーム全体の連携が良く、少数で乗り切れたと思えます。個人的にスイム担当は大磯大会に次いで 2 回目で、緊張感を持って臨みました。皆様の助けと他ポジションの経験も生かして、お陰様で無事に終える事が出来ました。

◆良かった点

- ・アンクルバンド配布で混乱しないように準備した。ウェーブ毎に番号順にテーブルに並べ、足首用の輪ゴム+周回数用の赤、黄色ゴムも一緒にセットした。写真は赤黄を付ける前。
- ・テーブル 3 台でもスペースが足らず、スタート前に全部置けなかったが、きりのいいところで残りを並べる事が出来た。今後も机は 3 台、少人数ならなおのこと必要だと思う。ウェーブ毎に分ける紐とテープを机に貼った。

- ・ボランティアが4名予定から2名になり、途中から1名になっても問題なかった。
- ・試泳の時間、入水地点を徹底し、勝手に泳がないように監視した。
- ・スイムキャップの予備が無かったのを思い出して、スタート前に本部に取りに行けた。
- ・スイム業務終了後、トランジとランエイドの手伝いをした。

◆改善点、次回の課題

- ・ガムテープ、紐、予備キャップを事前に準備する。
 - ・スタート地点に入る導線が、スイムアップコースを横切ってしまう。
 - ・本部からの DNS 連絡を受けて、スタート前に取り除いたアンクルバンドを、ウェーブ毎に袋にまとめておく。理由、受付遅れの選手が来て、その都度袋から探すのに手間取ったから。
 - ・取り除いたアンクルバンドの管理を徹底する。理由、DNS の筈が競技をしている事案が2件あり、計測担当と何度も確認した。ちゃんと袋に入れなかったか？不明。リタイア選手のアンクルバンドは、大北さんが全て集めた。
- 細かな報告になりましたが、以上です。今後ともよろしくお願いします。



◇氏名:大北武志

◇加盟団体名:神奈川県連合

◇配置と担当:スイム/アンクルバンド渡し、ボランティア指揮、ウェーブ毎整列、スタート誘導

◆良かった点

- ・全般的に、大きな混乱や重大な支障がありませんでした。
- ・大会レイアウトがコンパクトであり、トランジションや大会本部とスイム会場が近いた

め、選手が困惑することはありませんでした。

- ・キッズのレースにおいて、選手と選手のご父兄とを、スイムスタート及びスイムアップの際に切り分けることも、ご父兄のご理解のおかげで円滑に行えました。
- ・オリンピックディスタンスにて、今回から採用した周回の確認方法については、このやり方が有効と感じました。選手が周回毎に各自で自主的に輪ゴムを一つずつ捨てていくため、選手とTO・ボランティアと交錯することなく選手がスムーズに周回を行っていました。
- ・今回は赤と黄色と色を二種類にしたのも良いと思います。選手に確実に2つの輪ゴムを渡せたかどうか容易に確認できるからです。
- ・上記の輪ゴムについて、現場で渡す際、それぞれ左右の腕に分けて着けるように指示しましたが、このような指示・アナウンスが必須ですね。そうしないと同じ腕に2つの輪ゴムをつけていると、誤って二つ一緒に捨ててしまう選手がいるかもしれないためです。細かいことであるが、スイムマニュアルに明記した方が良いかもしれません。

◆改善点

- ・自分が把握している限りでは、オリンピックディスタンスにおいて、スイムリタイアした選手が9名でした。全員には確認できていませんが、数名の方にリタイアした理由を聞いたところ、「このウエットスーツは今日初めて着用しました」という1名を除いて、「疲れた」という答えが多かったです。これらの方々に共通していたのは、3周回のうち、1周回で陸に上がった時点でリタイアを申告している人がほとんどでした。また、息が苦しくなったのかと再度確認したところ、「そうではなく、疲れた」ということでした。顔色や唇の色を見ても危険な状態にある選手はいなかったように見えました。あくまでも推測ではありますが、スタートしてからの最初のブイまでの約500m間で、入水地点も狭く、コース幅も狭いところで、他の選手や周りに煽られたり、バトル慣れしていないことから、オーバーペースで泳いだことが「疲れた」原因ではないでしょうか。こうしたことから、スイムスタート直前の競技説明・コース説明の際に、「泳力に自信がない人は、最初のブイまでは、頑張り過ぎず、ウォーミングアップするくらいの気持ちで泳ぐことが、途中でリタイアしないことに繋がります」という趣旨の告知をした方が良いかもしれません。
- ・スイム競技での安全確保を徹底するために、試泳は必ずやっていただく、強く推奨する方が良いと思います。競技運営マニュアル、スイムマニュアル及び参加選手への案内に明記されてはいかがでしょうか。初心者の方ほど、水の中に入って動き出すことで急に心拍が上がってコントロールできなくなる可能性が高いと思われます。リレーを除いて、スイムスキップができないということは、参加選手にはできる限り完泳していただくというのが大会の趣旨ですから、前述したオーバーペースにならないようにという告知も含めて、全員が完泳するための働きかけを行うことが良いのではないのでしょうか。

- ・試泳の方法全般を明確にする必要性を感じました。具体的には、試泳エリアの定義と試泳時間の設定です。
- ・まず、試泳エリアの定義については、競技運営マニュアルの6ページの「3. スイム」の「2」には「ウォーミングアップエリアは、浜辺広域から入水させないようなロープなどを張り、所定の出入口を前日に設置します」と記載してありましたが、当日の現場は、そうなってはいませんでした。現実には試泳エリアについては、レースのカテゴリー毎にスイムコースの設定が変わること、最初のレースであるキッズ高学年～キッズ低学年～ジュニア・トラガールまでのスタート時間の間隔が短いこと、からロープを張るということは現場ではやりにくいかもしれません。例えばアイデアですが、目立つ旗のようなものを掲げた TO もしくはボランティアに方を 2 名、浜に平行に配置して、ここからここまでの幅の延長線の範囲内で試泳を行っていただく、ということではいかがでしょうか。何らかの方法で、試泳のエリアの定義は選手の皆さんに安全に競技を行っていただく上で、わかりやすくした方が良いと思う次第です。
- ・試泳時間については、それぞれの召集時刻の 20 分前から召集時刻までの 20 分間で試泳を行っていただくことを、スイムマニュアル及び参加選手への案内へ明記されてはいかがでしょうか。以上でございます。

◇氏名:市来竜哉

◇加盟団体名:神奈川県連合

◇配置と担当:スイム

- ◆チーフ、サブチーフ、特にスイムパートの稲田さん、榊さんには分かりやすく適切な指示を出していただき、大変動きやすかったです。
- ・また、大会は異なるものの今年度3回目の TO になると、何でも指示を待つのではなく、自分から他の TO と、ランジパートがずっと交代できないで昼食がまだらしいから交代要員で行こう、ランパートは2時を過ぎてもまだ昼食が食べられていないらしいから、手分けして行こうと。同じスイムパートの三井さんと相談し、当該パートのチーフや本部の承諾を得て動いたりできるようになったところが、多少、経験値が上がったところでしょうか。
- ◆しかし、大会全体を俯瞰して見るには、まだまだ経験を積まなければなりませんね。同じトライアスロンと言っても開催地が異なれば、地形、気候、注意点、参加者層の全てが違ってくるので、毎回、その大会の特徴をつかむことが大事だなと思われました。
- ・次シーズンも色々な方からのご指導、ご助言を受けながら、経験を積みたいと思います。今後ともよろしく願います。ありがとうございました。以上

- ◇氏名:山田和彦
- ◇所属:神奈川県連合
- ◇配置と担当:バイク/チーフ

2019/10/19

第12回川崎港トライアスロン in 東扇島大会反省メモ

バイク CTO : 山田和彦

①継続すべき点、

・選手もスタッフ

落車がいることをレース中の選手から教えられ、TO が現場に急行することができた。
事前説明で協力要請をしてもいいかもしれない。

②改善すべき点

・捨て看板の内容

道路占有の表示が「片側 2 車線」となっている。トラブルの原因となりかねないので、警察申請通りの「道路幅 2/3」とすべきと考える。

・備品の数と置き場所の事前説明

竹箒の数が分からないので、目の前の分を余分に取っていく。事前に個数が分かっていたら、各パートで振り分けや使い回しができるのでは。

・路面のごみの除去

場所柄、金属片、プラスチック破片が多い。今回のパンクが多かった原因の一つと思われる。
きれいにしたいが、竹箒、人員が限られているので当面の課題。

③カラーコーン&パー配置計画

・コースの大別

B1-1、B1-2 : 道路全幅を使用⇒道路中央に対面用のコーンを配置

B2-1~B3-3 : 道路幅 2/3 を使用⇒

コース中央に対面用のコーンと 道路幅 2/3 を示す端部用のコーンを配置



・今回の配置

事前配置を計画するに当たり、グーグルマップ等よりコースの距離を机上にて測定し、直線部やコーナ部の必要個数を割りだし、また、放置車両に対する注意喚起コーンも含め、330 個と計上した。

スバル前コーンを考慮した備品計画を添付します。

・前日の作業

事前にコース上にコーンが 500 個以上まかれており、バイクで必要なコーンは海側の道路端部に置き、不必要なコーンは陸側道路端部におくことで、ラン等担当に陸側のコーンを回収してもらった。

※スバル前の黄色のコーンについて (B3-1)

当日、スバル前ある黄色のコーンを借用したので、個数についてはかなりの余裕ができた。

ただし、下記の課題が残る。

・無断借用 ⇒ 了解を得る。

・現況復旧 ⇒ 事前に写真を撮る。

今回、前日に和田さんに撮ってもらっていたが、当日のコーン撤収時に別の場所にいたため、山田の感覚で復旧した。後日、グーグルマップで確認すると

スバル前の道路約 250m 間に 8~10m 間隔で道路両サイドに配置している。

④その他気づいた点

ボランティア 2 名に B2 の対面直角コーナを担当してもらったが 遠いので山田の車で送った(帰りは歩いてもらった)。昼食場所に車は置いて行った。

東扇島のバイクの場合、昼食やトイレが遠い等、ボランティアへの配慮が難しい。



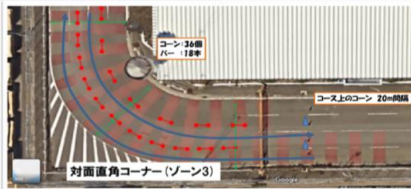
バイクコース備品集計

バ(-2m)

地点	1方所出り 本数	箇所数	本数	場所
折り返し	6	3	18	キッズゾーン1/ゾーン3
対面直角コーナー	18	2	36	ゾーン2/ゾーン3
乗車/降車	15	1	15	ゾーン1
合計			69	

コーン

地点	1方所出り 個数	箇所数	個数	場所
折り返し	7	3	21	キッズゾーン1/ゾーン3
対面直角コーナー	36	2	72	ゾーン2/ゾーン3
乗車/降車	20	1	20	ゾーン1
直線コース			203	20m幅横：全体
スバル前(備用)			25	黄色コーン(250m区間)
合計			291	



直線コース集計

B1-1	7
B1-2	16
B2-1	16
B2-2	40
B2-3	40
B3-1	36
B3-2	38
B3-3	10
合計	203



◇氏名: 糊澤信

◇所属: 神奈川県連合

◇配置と担当: バイク/ステルス

◆良かった点

・想定外の駐車車両に対しても、コースセッティングがうまくでき、事故なく大会を終えられたこと。

◆改善すべき点

・ステルス担当だったが、当日駐車車両のため定点担当になった。事前の準備が不十分で、雨風でレース中に寒い思いをした。

◆その他

・レース後に路上にゼリーのゴミなどが落ちていた。マナーアップの啓もうにも力を入れるべき。

以上

◇氏名: 野間秀樹

◇所属: 神奈川県連合

◇配置と担当: バイク/モーターバイク

◆よかった点

・業務運営と直接関係無いですが、竹内史さんがモーターバイクTOデビューを果たしました。救護もできるユーティリティプレイヤーなのでバイク担当に拘束するのは勿

体ないですが、モーターバイク担当不足の際は戦力になると思います。

◆改善すべき点

- ・キッズ高学年で周回不足の選手がいたのでしょうか？私、高学年の先導したので気になりました。
- ・分岐付近でTOかボランティアさんが「高学年は2周です」と呼び掛けを行う事をマニュアルにしっかり記す事が必要と思いました。

◆その他気づいた点

- ・競技マニュアルのスケジュールに「バイク試走」の記載がありませんでした。実際バイク担当側は皆さん把握されていまして問題は生じていませんが、予定されているモノは全て記載が欲しいです。
- ・リタイア情報の報告の件。無線でリタイア情報の報告者が本部の真由美さんが応答するのを待っている感じでや取りされていましたが、それを正解でしたか？自分は一方行の報告でも良いのかと思い、そうしました。
- ・関係無いことですが、パンクが多かった大会でしたが、タンデムも途中パンク修理しながらも完走されました。
- ・些末な事ですが、放置していた事があるのでついでに記します。モーターバイクに貼り付ける「審判車」「神奈川県トライアスロン連合」のプレートです。コースの看板と一緒にすると当日見つけられない危惧がありますので、看板とは別管理が良いと思っています。自分は浅海さんが独自に制作してくれた「神奈川県トライアスロン連合」のプレートを使っています。今回それを竹内さんのバイクに貼り付けました。
- ・予備で八景島シーサイドで毎回用意される使い捨ての「審判員」のプレートの大会名をビニルテープで隠したモノを持っており、今回の東扇島で自分のバイクに貼っていました。
- ・先週の八景島大会でも「最終走者」を付けるということだけ決まりましたが、そのプレートは誰が用意するのかが曖昧です。これまではバイク担当が独自で手書き等で有り合わせで用意してきましたが、その対応は本筋ではないと思います。

以上です。

◇氏名:森田正人

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:バイク/Zone 3:バイクコース一番奥の折り返し地点

◆良かった点

- ・大きな怪我がなく、実施することができた。
- ・事前にコーンやバーがバイクコース上に配布してあったため、当日スムーズなコース設定ができた。

・ボランティアの方の配置が結果として、適切であった。ボランティアの方 1 名が配置される予定であったが、結局来なかった。しかし、ボランティアの方がいなくても、十分に有効に機能した。

◆改善点とその対策案

・突然の雨で路面が濡れたため、バイク転倒者 3 名発生した。開会式の説明や看板による、雨天になることが予測される点・バイク転倒の恐れがある点を周知する必要があるようだ。

・開催前、路面に砂やゴミ等が散らかっている箇所が散見された。清掃しようと思ったが、竹箒等の配布がないため、残念ながら手で排除できるゴミのみの清掃となった。そのせいか、パンクが多かったように見受けられた。事前に手配をしておいた方が良い。

・大会会場中心から離れていたため、進行状況がわからなかった。他の開会で使用例があるように、Zello 等での情報共有が望まれる。

◆感想、来年の抱負

・雨にも関わらず、多くの TO が熱心に参加していたことに感心しました。次回も参加したいと思います。

◇氏名:浅井政司

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:ラン

◆よかった点

・無事に終了したこと

◆改善すべき点

・給水ボランティアの人数が少ない(3 名では無理)ポリウムゾーンの時間帯には対応出来ません。1 時間ほどつきっきりに対応いたしました。これで暑かったら大変なことになっていたと思います。また、氷の数が少なすぎます。

・輪ゴム渡しのボランティアの人数(4 名)もぎりぎりです。当日、欠席者が出て 3 名となったため、監視のボランティアを配置換えいたしました。また、ボランティアの昼食時間がうまくとれていませんでした。

・TOの昼食交代時間と交代要員を予め明示しておく必要があります。

◆その他気づいた点

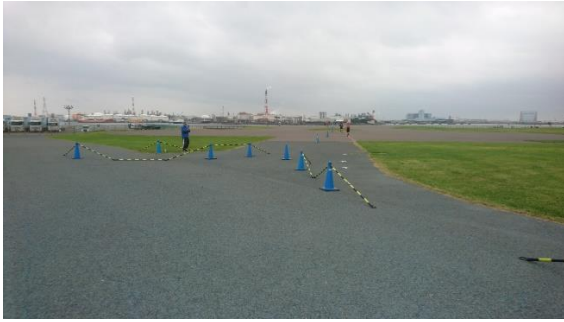
・フィニッシュゲート等の設備は業者が片付けるべきだと思います。

・集合時間はもう少し遅くてもよいのではと思います。

・レースの進行状況のアナウンスが全くありませんでした。

・これだけ少人数の運営であれば無線が必要です。

以上



◇氏名:篠原凧沙

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:ラン

◆よかった点

・小学生の競技中にランコースの周回エリアにカラーコーンを立て、保護者が観覧できるようにした点。

◆改善すべき点

- ・スイムアップからランジッションエリアまでのコースの間違えが多かった。本来、坂のコースに行かなければいけないが、階段を突っ切る選手が多かった。※1
- ・スイム観覧エリアとコースの行き来が可能な状態になっていた。テープなどで対処したが、特に小学生の保護者が選手がいるのにも関わらず飛び出してきている状態を多く目撃した。→声掛けをしたがコースと観覧エリアの区別がわかりにくかったり、そのエリアへの行き方などわかりにくい点が多いと指摘された。

- ・上記の点に似ているが、スイムの観覧できるエリア(公園利用者も含むエリア)への誘導路の確保ができていない※2
- ・トランジションエリアの奥の公園内に行きたいと言われるが、コースを横切る以外の移動のできる道がなく、TOが注意を向けられない状態で横切る人が多かった。
→横断路などの設置や誘導路の確保を行うことで移動できる迂回路などに案内ができるようにすることが必要。

以上の点が気になった点です。天候が不安定でしたが、無事に大会が実施・終了でき良かったです。ありがとうございました。 以上



◇氏名:玉川圭介

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:ラン/定点 R2(ゾーン A)、トランジション OPEN 時入場チェック補佐

◆良かった点

・ボランティアの方との連携がうまくいき、観客横断等でトラブルがなかった。選手もスムーズに走れていた。

◆改善点とその対策案

・レースナンバーが取れてしまっていたり、くしゃくしゃに絡みついていた選手を多く見かけた。声掛けに応じる選手も多くいたが、最後は疲れているのかそのまま走り去る傾向がある。⇒トランジション出口でチェックできないだろうか。⇒当日の雨のせいもあるかもしれないので、ゼッケンの材質を検討してはどうだろう。

・前ファスナーを下げている選手が多く、声掛けで注意するもほとんど無視されてしまう。⇒同じくトランジション出口でチェックできないだろうか。

・トランジションに入場する際、ヘルメットをかぶってこない選手が多くいた。ストラップの緩い選手も多く(特に子供)、締め方がわからない子供もいた。⇒受付時に説明を十分行う必要があると思います。

◆感想、将来の抱負

・今後も続けていきたいと思えます。

以上

◇氏名:水越照夫

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:トランジション

◆良かった点

・トランジットエリア内に更衣室や荷物置き場が配置されているので、着替えや、大きな荷物を置いておくことが出来た事。

◆改善点

・乗降車ラインを分かりやすくするために、コース案内の看板(道に置くタイプ)を数多く置ければ更に分かりやすいと思えます。

◆気付いた点

・難しい点もあるかと思えますが、TO の確保またはボランティアの増員を希望します。

以上

◇氏名:北島礼子

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:トランジション

◆よかった点

・今大会において盗難事故・接触事故がなかった。要因としては①トランジションエリアの入退場の TO のチェックの徹底②レースにおける TO のコース誘導が挙げられる。下記に記載した通り、時間外であってもトランジションエリア内に他選手がおり、接触しかねない場面があったが、声かけやトランジションエリア内の誘導により避けることができたことは今回の良かった点と考える。

◆改善すべき点

・チェックインの時間/時間厳守はほぼ守られていなかった。チェックインの時間後もバイクのチェックインに来る選手、シューズやサングラスの設置に来る選手が多数いた。また、更衣室もトランジション内に設置されていたため、競技前後で利用する選手が多数おりその都度トランジションエリア内を横断する場面が多数あった。

・盗難防止・接触防止の観点から①トランジションエリア内の立ち入り時間厳守②更衣室の設置場所の改善(トランジションエリア外)を改善すべきと考える。

・コースについて/時間によってはバイクスタート・バイクフィニッシュが入り交じり、接触事故のリスクが高い場面が多数あった。ジュニア以外のトランジション内の通行についてはルール化の必要性を感じる。

以上

- ◇氏名:吉村慶太郎
- ◇所属:神奈川県連合
- ◇配置と担当:フィニッシュ/チーフ

2019年10月14日

第12回川崎港トライアスロンin東扇島大会（2019年10月6日開催）

フィニッシュ・エリアのT0の記録

2019年フィニッシュエリア担当：吉村

1. T0（3名）の役割分担

- ・チーフ：全体統括のため特に担当を定めず、何か発生したらすぐに対応するため、自由に動けるようにした。
- ・サブチーフ：着順記録。
- ・T0：当初、着順判定用の写真撮影をお願いしたが、計測業者の記録・ビデオ撮影があることから、途中から、ゴール前の選手に対する声掛け（レースナンバー前面、サングラスを外す、同伴フィニッシュ禁止、一般客の誘導など）に変更。

2. フィニッシュエリアの設営

(1) フィニッシュエリアの設営（フィニッシュ・ゲート）

- ・フィニッシュゲートをはじめ会場設営（トランジションエリア、ランコースの網用の杭の設置など）は、前日に実施。
- ・SBR社（辻谷氏ほか）とともに、前日に集合したT0にて実施。
- ・フィニッシュエリアの前日設営は、フィニッシュゲートと、ランコースのフィニッシュゲートまでの金属柵（10m程度）の設置。
- ・フィニッシュゲートの設営にあたっては、SBR社の指示のもと、T0全員で協力して設営。
- ・フィニッシュエリアのカラーコーン設置は、大会当日。



(2) フィニッシュエリアの設営（フィニッシュ・エリア）

- ・今回のフィニッシュエリアのカラーコーン設置は、当初フィニッシュ後コンバーを当初5本分（長さ10m程度）としていたが、「フィニッシュ後の距離が長い」との指導があり、コンバー4本分に短縮（写真：次頁左）。最終的にはコンバー3本分に短縮（写真：次頁右）。
- ・選手出口を計測・エイド側とし、出口でボランティアがアンクルバンドを回収。

- ・選手の動線は、「フィニッシュ → 左側のフィニッシュエリア出口 → アンクルバンド回収 → エイド」の順番。



(3) フィニッシュテープ操作

- ・フィニッシュテープ操作は、2名のボランティアが実施（写真：上右）。

(4) アンクルバンド回収

- ・アンクルバンド回収エリアは、当初フィニッシュエリア後方に設置したが、競技の途中でフィニッシュエリア出口に設置。選手の動線がスムーズとなった。
- ・アンクルバンドの回収箱は、受付で使用していたプラスチックのかごを使用。
- ・アンクルバンド回収場所に、選手用の椅子を4脚ほど用意。
- ・次々と選手が入ってくるので、長時間、椅子に座る選手は、ほとんどいない。
- ・アンクルバンド回収は、ボランティア2～3名が実施。（基本的には2名で実施していたが、繁忙時はエイドのボランティアの2名のうち1名が手伝う）
- ・計測業社（ネオシステム社）からの依頼で、ボランティアは、アンクルバンドを回収しながら、アンクルバンドを10個づつに束ねる。
- ・輪ゴム（アンクルバンド用と周回確認用）も回収したが、ゴミ箱へ。



(5) エイドステーション

- ・計測横にエイドステーションを設置。テントあり（写真：上の黄色テント）。折りたたみ机1個。
- ・ボランティア2名で実施（状況により1名で対応可）。
- ・ポリバケツに入れた水を、柄杓で紙コップに入れて配る。

- ・紙コップの水をかぶる選手もいた。
- ・エイドステーションの周辺には、写真撮影（写真：下左）、反省会、応援者・家族との交流（写真：下右）など選手が溜まりやすい。このため、次回移行可能であれば、フィニッシュエリアから少し10m程度バイクメカニック側に移動を検討してみても良いと感じた（例：バイクメカニック隣あたり）。



(6) その他

- ・受付時・開会式開催時は、フィニッシュエリアのカラーコーンおよびコーンパーを一時解体する必要あり（写真：下左）。
- ・ゴール後エイドステーション後方に椅子を用意していた（写真：下右）が、選手が溜まってしまふので、途中で撤去した。



3. 着順管理・周回不足

(1) ゼッケンナンバー

- ・着順記録では、以下のような選手が多く、なかなか記録しづらい（これは、どうしようもないので、計測担当者は）。
 - A. 風でゼッケンナンバーがめくれ、レースナンバーが見えない。
 - B. レースナンバーを逆さま・裏表逆につけてしまう（特に子どもに多い）。

(2) 周回不足管理

- ・計測業者からバイク・ランに周回不足の連絡あった場合は、フィニッシュ担当は、審判長に無線で連絡し、大会本部に来てもらう。

4. ボランティア管理

(1) フィニッシュテープ操作

- ・ 2名のボランティアのうち片方のボランティアは、離れたテープを拾いに行く必要があり、年配の方にはかなり辛そうだった。数mではあるが、テープの端を拾うために、しゃがんだり、行ったり来たりする必要がある。
- ・ このため、フィニッシュテープ操作は、若いボランティアの方が良いと感じた。

(2) 食事交代

- ・ オリピックディスタンススタート後、フィニッシュするまでの時間（11:30～12:20くらい）に、空き時間があり、T0、ボランティアとも交代で食事。

(3) ボランティアの健康管理

- ・ 食事前に雨が降り、フィニッシュテープ担当の年配のボランティアが雨にぬれ、食事中に寒気を感じていたため、救護室で少し休憩、暖まってもらった。1時間程度の休憩ののち、元気に復帰。

5. エイドステーション管理

(1) 水の供給（ホース使用不可）

- ・ エイドステーションの水がなくなると、海側の水道まで、ポリバケツに水を汲みに行く必要あり。
- ・ ホースも用意してあるが、ランコースを跨ぐこととなるため、ホースは使えず。
- ・ 今回ボランティアが年配・女性の方ということもあり、自由に動ける吉村が実施。1回の水汲みで、5～10分の時間を要する。

(2) 身体に水をかける選手

- ・ 今回は、途中雨もあり、それほど暑くはならなかったが、それでもフィニッシュ後水をかぶる選手がいる。暑い場合には、水が早く無くなる可能性がある。

(3) 子供が入ってくる

- ・ レースが終わった子供が手伝うと言って、エイドステーションに入ってくるが、衛生管理上は入れない方が良いので、入ってきて柄杓や水を触らないように注意する必要あり。

以上

◇氏名:中尾聡志

◇所属:神奈川県連合

◇配置と担当:フィニッシュ/サブチーフ

◆初めてのフィニッシュ担当で、不慣れな部分も多々あり、ご迷惑をおかけした点もあったかと思いますが、皆様のご協力もあり、無事に大会が終了しましたことに感謝申し上げます。

◆さて、気になった点として計測担当(ネオシステム)から、バイク・ランの周回不足の連絡があった場合の対応が、フィニッシュ OP マニュアルに記載がなかったことから、簡単でよいので、フィニッシュ担当としてやるべきこと(=審判長へ連絡)を記載しても良いのではないかと感じました。

◆参考意見

- ・予想外の荒天に備えて緊急用の簡易カッパ＝大きめ(膝が隠れる程度)で丈夫なゴミ袋(穴あけ使用)を本部にて用意することは？市販のものがあるかも？～仮に使用しなくても次回以降使用可能。自分自身、身体が震え手が凍えた。雨が止んだからよかったが降り続いたら・・・？たしか去年の横浜トライアスロンでは低体温症が何人かあったとか。透明なシャワーキャップも帽子の上から被ると有効～事前案内
- ・バイクの下に置いた用具類が風で散乱、あるいは取り違えて行方不明(現にウエットスーツ)防止のためスーパーの買い物籠のようなものの使用を推奨したらどうか？

以上